

ながの環境パートナーシップ会議 総会 議事録

1 日 時 平成 22 年 6 月 5 日 (土) 午前 9 時 30 分から 12 時 30 分

2 場 所 ふれあい福祉センター 5 階ホール

3 総会員数 98 人

4 出席者数 67 人 (出席 : 35 人、委任状 : 32 通、午前 9 時 30 分現在)

5 会議次第

(1) 開 会

(2) あいさつ

(3) 議長の選出

(4) 議 事

①平成 21(2009)年度活動報告について(活動概要・チームから活動報告)⇒承認

②平成 21(2009)年度収支決算・監査報告について⇒承認

③平成 22(2009)年度活動方針(案)について⇒原案どおり可決

④平成 22(2009)年度活動目標・活動計画(案)について⇒原案どおり可決

⑤平成 22(2009)年度収支予算(案)について⇒原案どおり可決

⑥会則の一部改正について⇒原案どおり可決、6 月 5 日から施行。

⑦役員を選任について(役員選挙・第 1 回幹事会)

⑧会費の納入について

(5) 閉 会

6 会議内容

(1) 開 会

事務局長から会員数、出席者数及び委任状の提出数並びに総会の定足数を満たしているとの報告があり総会が成立し、開会した。

(2) あいさつ

高木代表幹事からあいさつがあった。

「昨年の秋に会則を変え、新しい体制でパートナーシップ会議を運営してきた。幹事がやってきたことは主に今日の総会に向けて出来る限りの準備をしようということ。そしてみなさんのプロジェクトチームの活動がうまく動くように努めてきた。今日の総会を無事に迎えられて良かったと思う。今日は本格的に新しい体制でパートナーシップ会議が動いていくための基礎をつくるための総会。みなさん忌憚のない意見をいただいて、よりよいながの環境パートナーシップ会議が運営できるように、みなさんのプロジェクトチームが活動しやすくなるようにはどうすればいいか、議論いただくことを期待している。よろしくお願いします。」

(3) 議長の選出

会員から、議長に塚田卓也副代表幹事を議長にという提案がされ、全会一致で承認された。

(4) 議 事

①平成 21(2009)年度活動報告について(活動概要・チームから活動報告)

活動概要について事務局から説明、チームの代表者から平成 21 年度の活動報告と平成 22 年度の活動計画についてあわせて説明された。

《質疑等》無し

②平成 21(2009)年度収支決算・監査報告について

平成 21 年度の収支決算について・海沼監事より予算執行について適正に処理されており、決算額も相違ない旨の報告があった。

《質疑等》

- 会議費としてある「会議交通費」はどのような場合に支出されるのか。
⇒小委員会や幹事会に出席された方には「会議交通費を支給することが出来る」と決まっているため、出席者に支出した。(事務局)
- 雑収入の内訳が知りたい。
⇒イベント参加費として光害プロジェクトのコンサートの参加費、市民の森のイベントの参加費、生ごみチームのポスター作成のための企業等からの協賛金としてもらったものがある。(事務局)
- 決算書の支出でプロジェクト活動費の部分、プロジェクトの活動は事業の主体なのに、予算にたいして支出が半分位。使えばいいというものでもないが、これだけ予算と執行の差がでてくると、活動がうまくいっていかなくて予算が使えていないのではないかと心配している。プロジェクトチームをサポートするプラットホーム的な役割として、活動がうまくいくように状況分析や展望がみえているのか教えていただきたい。
⇒予算については前年度の段階でこれだけ付けてほしいという内容についてはほとんどそのまま付けている。実際に活動してみたところ、以外に安くすんだというのものもあるし、予定していたフォーラムのようなものをやめて、内輪の勉強会にしたというのものもある。そのような支出があったのだと理解している。今、チームから、自分たちの活動が停滞していてこんなフォローができないか、という話は上がってきていないのが現状。話しが上がってくれば、幹事会ではいくらかでもフォローする。実際あまり活動できてないチームもあることは事実だが、かといって全く展望が見えていないわけでもない。要望があればフォローする。執行が少ないのにはあまり危機感を持っていないので、それがいけないということであればここでご意見をいただきたい。(高木代表幹事)
⇒プロジェクト活動費のうち、新規プロジェクト活動費として当初予算 55 万円ついている。予算残額 44 万 3583 円となっているが、このお金は 4 月に新規プロジェクトのワークショップを行って、審査をし、採択されたものについて予算をつける計画だったが、予算付けが 22 年度にずれ込んでしまったこともあって、使用していないことになっている。(事務局)
- 予備費が少ないのではないか。これだけ誤差が出ているのは、現実的な予算になっていないからだと思うので、予備費を使えるようにしておけばいいのでは。
⇒ご意見としてお受けする。(議長)

③平成 22(2009)年度活動方針(案)について

④平成 22(2009)年度活動目標・活動計画(案)について

平成 22 年度活動方針について事務局から説明、5 月 26 日の幹事会で採択された 2 プロジェクトについて活動計画について提案者から説明を受けた。

《質疑等》

- スキー場跡地の自然復元プロジェクトは、市民の森チームと協力してやるのが実現可能なのではないか。
⇒その件は、幹事会の説明を受けた時点で提案している。自然復元プロジェクトの方からも、体制をとればというお話をいただいている。(市民の森リーダー)

○子どもの環境学習支援プロジェクトの方で何かお手伝いできることがあれば、お願いいたします。(太陽エネルギーリーダー)

⑤平成 22(2009)年度収支予算(案)について
平成 22 年度予算について事務局から説明した。
《質疑等》無し

⑥会則の一部改正について

高木代表幹事から、会則第 11 条第 1 項第 1 号関係(幹事数の改正)と第 12 条第 1 項(役員の選任)について改正理由の説明があった。

《質疑等》

○幹事会は代理の出席が認められないと聞いている。市環境部長を幹事にした場合、常に出席できるのか疑問。代理出席が認められればいいと思うが。

⇒市の環境部とは話が出来ていて、原則出でいただくことになっている。いつもとはいかなくても、出来るだけ出でいただく。(高木代表幹事)

⑦役員の選任について(役員選挙・第 1 回幹事会)

役員の選任について、役員選挙の方法を事務局から説明、立候補者の紹介をしたが、会員から立候補者からあいさつをもらって、顔をしっかり確認したいとの申し出があったため、自己紹介と立候補の抱負をお話いただき、選挙に入った。立候補者幹事 6 名 監事 2 名について投票用紙の信任する方の欄に○をする方式。集計時間は総会を休憩とした。信任の数が多い順で発表し、立候補者全員の当選が確定した。

新役員 幹事 弓場 法・高木 直樹・渡辺 ヒデ子・安藤 和夫・中村 安治
金井 三平

監事 海沼 健一・小山 勝宏

その後、総会は一旦休憩し、第 1 回幹事会が開催され、代表幹事 1 名と副代表幹事 2 名が選出された。

代表幹事 弓場 法

副代表幹事 高木 直樹・金井 三平

弓場新代表幹事から就任のあいさつと副代表幹事の紹介があった。
海沼監事からあいさつがあった。

⑧会費の納入について

事務局から、会費の納入について説明。チームごとに納入していただくこと、後日納入方法についてチームリーダーに連絡すること、8 月末までに納入することなどを説明した。


予定した議事が終了し、進行は事務局長に返された。

(5) 閉 会

事務局長から、以上をもって総会を閉会する旨述べられ、12 時 30 分頃散会した。

上記のとおり平成 22 年度総会の議事に相違ないことを証するため、ここに議長及び幹事が記名押印する。

平成 22 年 7 月 2 日

議 長 塚田卓也 
幹 事 高木直樹 